

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) パナソニックインダストリー株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 571-8506 大阪府門真市大字門真1006					
本票作成	部署名 : GX推進部 環境推進課									
主たる業種	分類コード	28	業種名 : 電子部品・デバイス・電子回路製造業							
事業の概要	電気部品・電子部品・制御機器・電子材料等の開発・製造・販売 従業員数 : 約42,000人									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	メカトロニクス事業部津山工場			津山市河辺字下門1111-1					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台									

計画期間	令和 7 年度			～			令和 8 年度			(2 箇年度)		
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 2.2 %		目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準									○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)					目標年度 (令和 8 年度)						
	13,861 t CO ₂					13,836 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量							
	①	メカトロニクス事業部津山工場			13,861 t CO ₂							
					t CO ₂							
					t CO ₂							
					t CO ₂							
					t CO ₂							
					t CO ₂							

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		9.485 t CO ₂ / (百万個)	9.281 t CO ₂ / (百万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2027年度よりCO₂排出量ゼロ必達が弊社事業部目標であるため、省エネ活動と並行して、2027年度より非化石証書の購入を考えている。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・環境マネジメントシステムの運用を図る中で、拠点長をトップとした環境管理体制を拡充。
- ・津山地区 環境保護推進組織の中にCO2削減・省エネ部会を設置し、体制強化。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
メカトロニクス事業部 津山工場	自営太陽光発電設備の稼働 OFFサイトPPA風力の新規稼働(1400kW) ONサイトPPA[Step1]の新規稼働(357kW) ONサイトPPA[Step2]の新規稼働(170kW) 構内照明のLED化、空調機の更新、空調機監視システムの導入 コンプレッサー更新、チリツモPJ推進、冷却水システム導入 省エネパトロール

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
メカトロニクス事業部 津山工場	(今後実施予定分) 自営太陽光発電設備の継続稼働(100kW) ONサイトPPA[Step1]の継続稼働(357kW) ONサイトPPA[Step2]の継続稼働(170kW) ONサイトPPA[Step3]の新規稼働(671kW) ONサイトPPA[Step4]の新規稼働(255kW) 空調機の更新 空調機監視システムの導入 チリツモPJ推進の継続 省エネパトロールの継続 省エネ普及啓発 エネルギー使用量分析 製造工程効率改善

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	ONサイトPPA太陽光発電Step3(671kW)の導入を計画中。
その他	無	

【その他特記事項】

- ・環境マネジメントシステム(ISO14001認証)の継続的運用と改善
- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる